

KEY TOPIC

## CHCで全国を繋ぎ 第45期入社式・基本方針発表開催

# 全社「志」 ひとつに



4月1日(金)、愛知県名古屋市で第45期入社式および基本方針発表が行われました。リアル開催は実に2年ぶり。新入社員と幹部社員が参加しました。この様子はCHCで配信し全社員が共有。志をひとつにして、新年度のスタートを切りました。

### コロナ禍での健闘を表彰 高い「志」で進む決意

新入社員を迎える入社式は久々の会場開催。一人ひとりが後藤会長から辞令を受け取り、決意に満ちた顔を見せてくれました。

後藤会長から「我々は何のために広告の仕事をしているのか、「志」を高く掲げて仕事をしよう」と力強い言葉が送られました。

続いて行われた中広社長による基本方針発表では第44期の総括として通期の黒字化、さらに情報誌1,000万部発行達成を報告。DX化や新規事業の創出、CSV、PFIなど新たに取り組んだ経営課題についても共有しました。第45期スローガン「愚直なまでに報恩謝徳の精神で」を発表すると、具体的な目標計画へと話は進みました。

大島常務からは「挑」をキーワードに5カ年計画の詳細を説明。昨年度に続き重要事業

である6事業を原動力として、それぞれの大任(責任者)が計画と目標を示しました。現在発行している各種媒体についてもDX化を取り入れ、唯一無二の存在に成長することを約束。さらにクライアント自動入稿システム「AD-Self」の開発を急ぎ、第49期までの5カ年で全商品および社内のDX化、地域のDX化によって営業利益の目標達成を果たすと話しました。

毎週、全社員が理念や課題を共有するオンライン配信「CHC」で、今回の入社式・基本方針発表を共有。会場にいない日本全国の全社員も同じように新入社員を歓迎し、第45期の「志」を共有しました。

盛り上がりを見せたのが、第44期に取り組んだ「大営業祭」の結果発表。コロナ禍で営業活動が制限されるなか、企画の工夫やスタート数字の確保で予算達成を続けた部署があります。表彰の際には全員が発表に聞き

入り、大きな拍手を送りました。

5カ年計画の初年度にふさわしく、顔を合わせて直接の対話を実現した第45期入社式・基本方針発表。幸先のよいスタートで、全社員が一体となって目標達成に向け駆けつけていきます。



※撮影時のみマスクを外しております

### ★ 情報誌予算年間達成 宮城ブロック「さきっぺ!」編集室

第43期の第4Qから継続し、第44期は通期で達成。要因のひとつはスタート数字60%以上の徹底。第44期は毎月60%以上でスタートするため、早い段階で当月の予算を達成。翌月号以降の営業にシフトするいい流れができました。第45期5月号はすでに達成、6月号も現在スタート数字84%です。今後もスタート数字60%以上と達成を継続します。(宮城ブロック・佐々木)



### ★ 情報誌予算年間達成 滋賀支社「オウティクラブ」編集室

年間達成「グランドスラム」を達成できた要因は2つあると考えます。1つは、スタート数字を上げること。もう1つは、C-Brain制作にこだわったこと。スタート数字大臣の施策もあり、スタート数字を右肩上がりに伸ばすことができました。また、C-Brainによって、時短かつ制作費減に繋がりました。第45期もチーム一丸で予算達成を目指します。(滋賀支社・脇坂)



### ★ 大営業祭 営業部門 第1位

売上を伸ばせた要因は、自動車販売店の受注でした。テレポでは「付き合いがないところは繋げません」と厳しい対応。諦めず毎月電話や新号を届け続けていたところ、掲載中の競合誌の配布エリア変更をきっかけに、問い合わせをいただきました。見積書を用意し、年間契約に至りました。今後は行政案件や住宅案件など、大きな案件を動かせる営業職に成長していきたいです。(埼玉ブロック・坂野)



### ★ 新設「官公庁事業部」挨拶

第45期に新設となった官公庁事業部のミッションは「地域課題の解決」です。コロナ禍で大きなダメージを受けた地域経済を復興するには、行政の民間活用が不可欠です。情報インフラとしての「地域みっちゃん生活情報誌」を活用した情報発信(広報)はもちろん、わが街商店を応援するクラウドファンディング、県や市町の新規プロポーザル、行政と民間企業連携による質の高い公共サービスの提供(PFI)などに挑戦します。そのため

### 「報恩謝徳」の精神で地域に恩返し

に、まず各地域の課題を知り、解決するためのブレーンを組み、実績を展開する必要があります。イベントセミナー部の仲間とともにオール中広、VC各社、JLAA、JPPPO(ジャパンパブリックプライベートパートナー機構株式会社)など、全国の仲間の実績をフル活用し、時代の変化に対応した提案を実施してまいります。これまで地域に生かされてきた中広が恩返しできるよう、地域課題解決に向かいます。

### 官公庁事業部長 瓜田昌宏



# 幸の木を植え続けよう 創業45周年に感謝して

## 水を飲む時に 井戸を掘った人を忘れるな

我が社の創業記念日は皐月1日です。1977年秋、「販売の神様」といわれた中日新聞社故加藤巳一郎社長と先代が岐阜の名刹大龍寺の茶室で面談。「中日新聞の広告代理店をやらぬか」と声を掛けていただきました。控えの間にいた私は、二人の弾む声に一陣の風を感じたことを昨日のように思い出します。翌年5月1日メーデーに創業。先代が掲げた理念「飲水不忘掘井人」(水を飲むときに井戸を掘った人を忘れない)は、社訓となり今日に至っています。この社訓は、受けた恩を忘れるな、忘れた時点で自らの存在価値と意義はないという教えであります。

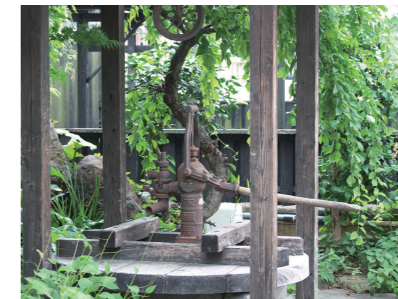
桜前線が北上中の4月上旬、まだ残雪深い北海道滝川市(中空知地区)で発行するハッピーメディア「地域みっちゃん生活情報誌」『SORA』の編集室へ向かいました。『SORA』は創刊7周年、5月号で86号を数えます。上機嫌で明るく優秀なスタッフ6人が心を込めて営業・編集してくれています。発行部数は43,000部、配布エリアカバー率は滝川市(89.2%)・歌志内市(80.4%)・赤平市(79.9%)・砂川市(91.3%)・新十津川町(88.8%)・奈井江町(91.3%)です。北海道に関係される方はご存知だと思いますが、空知管内は札幌から旭川に向かうJR沿線です。深川市中心の北空知、滝川市・砂川市の中空知、岩見沢市を中心とする南空知の旧石狩国24市町です。戦前・戦後にかけては石炭産業で隆盛を極めました。北海道の中でも特別豪雪地帯に指定されており、この冬も13メートルの積雪を観測したそうです。

歌志内市の柴田市長を訪問した際に驚いたのは、この市の人口でした。昭和23年には4万6千人が暮らし、川沿いに炭鉱住宅が並び賑わいを見せていたとのことでしたが、現在は1,744世帯、人口2,865人。歌志内市は日本一人口の少ない市なのです。

「『SORA』は創刊7周年になりました。歌志内市1,403世帯に配布させていただいております。全戸にお配りしたいのですが、配布困難なエリアもあり80.4%のカバー率であることをお許し願います。これもひとえに市長はじめ、市民の皆さまのご理解ご協力、ご利用あつての継続です。感謝、御礼申し上げます」とご挨拶いたしました。柴田市長は「不採算ではないですか。それでも7年間、毎月届けていただき感謝です。なぶん情報は市広報しかありません。『SORA』の

おかげで市民に生活情報が届きます」と誇りの言葉をいただきました。ちなみに新十津川町は一部が山岳地です。2,989世帯のうち2,570世帯は、郵便で配達しています。

我が社の『地域みっちゃん生活情報誌』は、決めたエリアの一軒一軒に手配りするのがポリシーです。『SORA』を発行する中空知エリアの全首長を訪問し、御礼のご挨拶といくつかのご提案をさせていただきました。柴田市長をはじめ全首長から「『SORA』の役割を理解いただき発行を感謝」されました。今後も、『SORA』の発行を楽しみにされている読者のため、旭川市・滝川市の仲間とともに、新鮮で元気の出る情報誌をお届けする覚悟です。



飲水不忘掘井人

## 不易流行 紙のメディアとデジタルメディア

時代はデジタルです。時空を超えて情報が飛び交うご時世に、紙のメディアは古い。ましてや一軒一軒手配りするなんて、と思う向きもあります。しかし、デジタル化さえすれば生活はより豊かになり、人の心はより満たされるのでしょうか。

こんな話をご存知ですか。熟練の旋盤工、職人がいます。IT技術の進歩は、その職人の域に到達しようとイノベーションを繰り返します。旋盤技術の究極は、ITやAIが熟練の旋盤工に追い付き追い越すことです。職人はアナログの最たるものだといわれますが、その職人がIT技術を駆使しAIと協働すれば、他の追従を許しません。

松尾芭蕉の残した言葉に「不易流行」があります。いわく「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」です。「不易」とは世の中が変わっても変わらないもので、「流行」とは世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。紙は「不易」であり、デジタルは「流行」です。紙のメディアがあつてこそ、デジタルメディアはメディア足り得るのです。

## 衆人皆師 地域への報恩、働く謝徳

恩とはなにか。対価を求めるならば、それは恩ではありません。「恩」あるいは「報恩」というと、封建制度の名残りとして民衆を支配する手段だと批判する人がいます。それはそれで理解できますが、私が伝えたい恩は見返りを求めない無償の恵みです。

一つは「親の恩」です。子を愛さぬ親はいないはず。しかし、世の中では子どもに対する虐待のニュースが後を絶ちません。それでも、子どもからすれば親は親、自分の命の根源です。存在そのものが恩であり、押し広げれば先祖の恩にもつながっていきます。二つ目は「師の恩」です。あらゆる意味で自分に生きる知恵と力を与えてくれた人たちです。逆もあります。自分にとってプラスにはならなかった人も、実は重要な反面教師です。恩は石に刻み、怨は水に描けと、誰かが言いましたが、否定からは何事も生まれません。人生で出会った全ての人は「衆人皆師」なのです。

そして、三つ目は社会の恩です。この国で平和に、安心して暮らせているのも多くの人の努力があるからです。私たち人間は一人では生きていけません。社会の中で生かされています。「人間は働くから人間」です。無意識に享受している大きな「社会の恩」に対して、「働いて」報いることは、生きる価値と申しても良いでしょう。

私は入社式で、我々はこの世に生まれ、生かされていると訓示を述べました。そのものが「報恩」です。生きるとは受けた恩に報いること、謝徳することなのです。

我が社は、「広告業を通して地域社会に貢献する」という理念のもと、日々この仕事に取り組んでいます。広告は「社会の映し絵」です。「広告は未来を拓く力」です。地域が元気になるように、情報誌を発行しお届けをして、地域のご恩に謝徳することができます。その根源は、我が社の社訓「飲水不忘掘井人」にあります。

世の中は不確定です。何が起るか誰にもわかりません。しかし、たとえどんな状況に置かれようとも、我々は報恩謝徳の精神で、愚直なまでに、日々真摯に働く。そして我々のできることを一歩一歩、着実に進める。地域社会のために、今できることを精一杯やっていきたいと思います。ドイツの神学者マルティン・ルターは「たとえ明日世界が滅亡しようとも、今日私はリンゴの木を植える」と言いました。新入社員諸君!我々は我々の地域のために、「幸の木を植え続けましょう」。

「飲水不忘掘井人」創業45周年・報恩謝徳 2022・皐月・如水こと後藤数次



10,194,604部

※VCエリア含む ※2022年4月末現在 ※世帯到達率は媒体配布部数を4月22日現在の各県が公表している世帯数で割り算し、一部イレギュラーな発行に伴い、5月に流通していないものが含まれます。

Table listing magazine titles and circulation numbers for Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Yamagata, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table listing magazine titles and circulation numbers for various prefectures including Kanagawa, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table listing magazine titles and circulation numbers for various prefectures including Kanagawa, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table listing magazine titles and circulation numbers for various prefectures including Kanagawa, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table listing magazine titles and circulation numbers for various prefectures including Kanagawa, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table listing magazine titles and circulation numbers for various prefectures including Kanagawa, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table listing magazine titles and circulation numbers for various prefectures including Kanagawa, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

Table listing magazine titles and circulation numbers for various prefectures including Kanagawa, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa.

読者の声

「地域みっちゃく生活情報誌」に寄せられた読者からのお便りををご紹介します。



地域の名物となるグルメが凝縮されていて、一軒ずつ足を運べたらと思います。(Wさん・20代)

地元愛が満載で、毎月楽しみです。近くのお店ばかりで、いつも行きたいと思わせてくれます。(Mさん・60代)

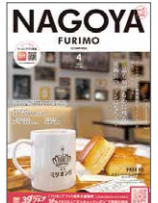


北杜農園の記事が良かった。農業修業をしようと思い、山梨農業大学の就業サポートを申し込む予定です。(Hさん・60代)

桜の名所。家族とお花見の場所を決めるのに役立ちました。(Tさん・30代)

掲載レスポンス

「地域みっちゃく生活情報誌」に掲載した広告の反響をご紹介します。



日本茶専門店が定期的に期間限定メニューを掲載。QR読み取りは毎月150~200回、かき氷を載せた際には400回近い読み取り数でした。掲載前は近所の人々が主でしたが、掲載後は若い層が来てくれると満足いただけました。



年4回程度イベントを開催しているアパレル店。「5,500円以上購入で合計金額より5%OFF & BOXティッシュプレゼント」のクーポンで過去最高28枚のバックがありました。今後もイベントの際は前向きな検討をいただけました。

定期的な掲載で過去最高の反響を獲得!

VC TOPICS 愛知県『月刊はるる』KNS株式会社

無症状の方向け無料PCR検査センターの開設を告知

愛知県が実施しているPCR等検査無料化事業の一環として、春日井市でもPCR検査センターを開設することとなりました。ウィズコロナを実現し、人と人とが安心して会うことができるようにと始まった無症状の方向けの検査です。文字を大きくシンプルにし、無料であること、場所や時間など必要な情報をわかりやすく伝えられる誌面にしました。発行後、1日平均で20件ほど検査数が伸びる結果となりました。



▲2022年4月号誌面

Advertisement for 'ママこっこ' magazine featuring a coupon app, a lecture event, and a free trial offer. Includes QR codes and contact information.



入場無料招待イベントをハッピーメディア®で!

地域みっちゃく生活情報誌

## GWはトヨタスタジアムを満員に!

依然として全国で猛威を振るう新型コロナウイルス。これまでに国民や企業に多大な影響を及ぼしましたが、「まん延防止等重点措置」解除後、濃厚接触者の待機期間の縮小や隔離の可否を企業判断に委ねるなど、ようやく経済が本格的に動き出しました。

いつの時代も復興のエンジンとなるのはスポーツ。海外に目を向けると、野球場やサッカースタジアムでは大声で競技を楽しみ観客で溢れています。そんななか、日本でも「スタジアムを観客で一杯に!」と名古屋市の拠点を置くサッカーチーム「名古屋グランパス」がGWに開催するホーム試合に10,000名を無料招待するキャンペーンを実施しました。この催しは実に3年ぶりとのこと。告知に選んでいただいた媒体は「NAGOYA FURIMO」でした。途中の反響集計でも数千回のQRアクセスがあり、先方も大変喜んでおられました。今後も当社情報誌を通じて、クライアントと地域の橋渡しになれるよう業務にまい進していきます。

(名古屋支社・三宅)



読者プレゼントの反響から生まれた提案

地域みっちゃく生活情報誌

## 『NAGOYA FURIMO』全誌で新商品チューハイを告知

この度、宝酒造株式会社より新商品「すみか」の告知を「NAGOYA FURIMO」全誌にて受注しました。愛知県犬山市の桃を使用したチューハイのプレゼント提供からはじまった案件です。「せっかくならば…」と情報誌の告知もあわせて案内したところ、ちょうど新商品のターゲットとなる若年層にアプローチできる媒体を探していたとのこと。プレゼント時はたくさんの応募があり、ターゲットが読者層とマッチしていることや、メインの名古屋市に一括で告知できる媒体を持っていたことがあり、話がまとまりました。

今回の件で、「本当にどこに広告チャンスがあるかわからない」「先入観やフィルターをもたずに、大きな提案をしてみる」ことの大切さを改めて感じました。クライアントからも、「情報誌の効果があってか、初動販売好調です」と喜びの声をいただいています。

これからも地域No.1媒体としての自信をもって、クライアントをはじめハッピーメディア®に関わる人の笑顔のために取り組んでまいります。

(愛知支社・奥田)



あいスタ認証飲食店を応援

冊子制作

## 情報満載!「日進市おいしいグルメガイド」

日進市商工会より、飲食店情報誌の制作業務を受注しました。新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組む飲食店を愛知県が認証する、「ニューあいちスタンダード(通称:あいスタ)」認証取得店の応援を目的とした情報誌です。尾張旭市や長久手市の商工会が発行する情報誌の制作実績を評価していただいたの受注となりました。

24ページの冊子に97店舗を掲載。ほぼすべての店舗にクーポンを付け、各店舗の基本情報やマップ等を確認できるQRコードも掲載しました。「あいスタ」についての特集や商工会発行のプレミアム食事券の情報など、盛りだくさんの内容で「頑張る飲食店を応援したい」「安心して外食したい」という市民に飲食店の利用を促す1冊を目指しました。

3月末、市の広報誌とともに各家庭に配布され、「情報誌が欲しい」との問い合わせがあるなど反響が大きく、商工会の担当者にも喜んでいただいています。

(愛知支社・加藤)



巻頭特集連動企画「城郭めぐりをしながら行きたい店!」

地域みっちゃく生活情報誌

## 城のない志摩市で城郭めぐりのおもてなし

三重県内の7つの観光協会が共同で実施するスタンプラリー「城郭めぐりで三重を周遊」。県内の城を巡ってスタンプを集めると特産品が抽選で当たるこの企画を、特別特集として県内7誌で取り上げました。また、せっかくなら各エリアの店に立ち寄りて満喫してほしいと、「城郭めぐりをしながら行きたい店!」を編集室で企画。志摩市には城がなく、「お城ないよ?」とクライアントからの声もありましたが、「縦に長い三重県の城跡をめぐってもらい、旅の終着地点志摩市でおもてなしを」という企画コンセプトをお伝えすると、多くのご賛同をいただき、予定していた2ページから3ページへと増やすことができました。

7誌のなかから情報誌を選んで掲載できるオプションをつけたことで、「さみつくらぶ」以外にも多くのご掲載をいただきました。この一連の企画を通して、三重県の歴史的な素晴らしさや志摩の店舗の魅力が他のエリアの人にも伝わり、志摩観光のきっかけとなればうれしいです。

(三重支社・山本)



## CHUCO HAPPY NEWS 日々、業務に向き合うなかで寄せられた、うれしいニュースをお届けします。



「前橋フリモ」と「高崎フリモ」12月号の巻頭特集「スイーツ博覧会」でご協力いただいたスイーツ店から「久しぶりに、本当の大盛況を実感しました!オープン以来の忙しさです。ありがとうございます」と、大変喜んでいただきました。同じく12月号の「クリスマスメニューをプレゼント」企画では、応募が殺到!担当している結婚式場に「素敵な商品をご提供いただきありがとうございました!読者も大変喜んでます」とお礼のお電話をしたところ、「式場にも発行直後の土日で、問い合わせが20件以上ありました。ありがとうございます」と大変喜ばれました。どちらも定期的に掲載いただいているクライアントですが、さまざまな企画で反響を実感していただき、こちらでもとてもうれしくなりました。「ありがとう」を作る仕事ができることに感謝と誇りを持ち、今後も丁寧な対応を心掛けてまいります。

(群馬支社・齋藤)



マンション販売広告をするにあたり、物件が駅から遠いこともあり誘導看板が必須と考えました。業者の媒体資料にはびったりの情報がなかったので、自ら現地周辺を歩きまわり、幹線道路の交差点に設置可能な場所を探し出し提案しました。「真夏の暑いなか、最高の場所をありがとうございました」と大変感謝され採用いただきました。少しでも集客の役に立てるようにと諦めずに動いた結果と、喜びを分かち合えたことで、晴れやかな気分になった瞬間でした。

(イノベーション事業部・奥井)

## CHUCO CLUB

### 新部長紹介



クリエイティブ部は中広の頭脳です。編集・企画・デザインが三位一体となって事業を動かし、各支社・事業部の売上向上に貢献できるよう、日々、知恵をばっています。商品クオリティの向上、新事業の展開などクリエイティブの無限の可能性を最大限引き出し、感謝の心をもって全員体制で取り組んでまいります。

(クリエイティブ部・遠藤)



情勢変化が激しい昨今、地域経済を盛り上げるための最適解も目まぐるしく変わり続けています。これからは、各専門分野が最先端を追求しつつ、同じビジョンをもち共鳴していく必要があります。まずは新部長を拝命した我々が横串連携し、地域を支えられるような強い戦略の提供を目指してまいります。

(業務執行戦略室・松野)



広報は自社のHP、見積サイト、各種SNSやblog、ニュースリリース等の発信媒体や、他社との共同事業を通じて、自社ブランドの価値を高め、売上向上に繋げることが使命です。この度、任命いただきました部長職として「DX時代において中広の広報がどうあるべきか」を追求し、営業職と共に目標達成へまい進いたします。

(業務執行戦略室・岡本)



9年間、お客様、取引先様、社内の皆さんより本当に多くを学ばせていただいたことに改めてお礼申し上げます。今期より更なる重責を担うことになり、感謝と同時に緊張感が抜けませんが、「広告で日本を元気にする」決意をもち、関西の地で敢為邁往する所存です。変わらぬご支援のほど、よろしくお願いたします。

(イノベーション事業部・山際)



管理本部システム部の部長を拝命いたしました。システム部の業務は主に社内システム開発・保守、インフラ管理、PCやモバイルの統合管理、RPA(単純業務プロセスの自動化)などです。第45期のテーマ「DX時代を駆け抜けろ!」と非常に密接な部署の責任者として、一層精進いたします。

(管理本部・貴堂)

## 『嶺北フリモ』リニューアル 福井市配布エリア拡大!

地域みっちゃく生活情報誌『嶺北フリモ』は、2022年4月号より、福井市北部の34,884世帯を配布エリアに加えしました。福井市は人口25万を超える福井県の県庁所在地であり、2024年の北陸新幹線開通に向けて、市内の開発も非常に盛んなエリアです。

福井市への配布を開始した直後、クライアントからの掲載お問い合わせや、市内在住の読者からのお便りが続き、配布エリア拡大の効果を実感しています。『嶺北フリモ』エリアの経済発展にさらに貢献できるよう、編集室一丸となって頑張ります。

(福井ブロック・山岡)



▲福井市に広がる風景を表紙にしました

## 第45期新入社員研修を実施



▲新入社員研修の様子

2022年度新入社員8人を迎え、3月28日から4月6日まで新入社員研修を実施。社会人としての意識改革、企業と商品の理解、ビジネスマナーの習得、社内コミュニケーション、実践的な営業準備を目的としたカリキュラムで、座学と実習を行いました。『地域みっちゃく生活情報誌』を手配りする配布実習や、印刷会社の印刷知識の講義も貴重な体験でした。関係者には改めてお礼申し上げます。また同時研修をした2年目の先輩社員と交流もでき、8日間の研修を終える頃には、緊張した笑顔から心が伝わる笑顔に変わり、自分の意見を堂々と述べる姿が見られました。新卒フォローアップ研修で、また成長したメンバーに会えることを楽しみにしています。

(業務執行戦略室・伊藤)

部署だより NO.100

## 営業本部 業務執行戦略室／教育研修課



▲業務執行戦略室／教育研修課スタッフ

業務執行戦略室教育研修課は、昨年度新設された部署です。人材育成の研修と営業支援の役割があります。

研修は社員アンケートに基づきカリキュラムを立案し、社内外の講師や各部署の協力を得て、月1回のペースで実施。新入社員研修や新規採用者研修などの新人向け研修では、企業理解を深める講義や営業スキルを磨くワークで社員にとって大切な最初の一步を担います。オンライン研修では全国の社員がウェブで繋がり、社内コミュニケーションをより活発にしています。

営業支援は、全社の予算売上管理、営業支援システムの促進、営業マニュアルの作成などを行っています。業務執行戦略室の企画課、広報課と連携して、全社を盛り上げる統一の営業イベントなどを実施。全社予算達成のためにも、社員の仕事の質を向上させる環境づくりを目指しています。今後も、全社員の絆を強くする縁の下の力持ちになれるよう、まい進してまいります。

(業務執行戦略室・伊藤)

## 編集後記

久しぶりににぎやかな1面の紙面にうれしくなりました。街のにぎわいも戻りつつあり、当社のフリーマガジンも掲載店が増え、活気を取り戻していることが見て取れます。昨年、社内公募で誕生した「気が付いたら、家に街がある」という情報誌のコピーそのままに、誌面がにぎわい、見ているだけで、なんだか楽しい気持ちになります。ページをめくりながら情報は質と量、共に大切だと感じています。

中広は5月1日に創業45年を迎えました。これからも地域の情報を細かく収集し、質の高いアウトプットをもって、地域経済の発展に貢献できるよう、努めねばと思います。そのためにも、どうぞ、各地にあります編集室へお客様からも情報を共有ください。この先、何十年も地域の皆さんと創る情報誌であれるよう、共に育てていただけましたら幸いです。

(業務執行戦略室・岡本)





# 地域の逸品を地域へ、そして全国へ売り出す「フリモール」

フリモール

中広では24年にわたるインターネット通販事業のノウハウを生かし、昨年、地域の商品をオンラインで販売する「フリモール」を始めました。コロナ禍によって急拡大したネット通販領域は、大手企業や大手モールだけに有効な手段ではありません。疲弊した地域事業者には、大きな投資なしで参入できる通販サイトが必要だと考え、「フリモール」では手数料歩合制の掲載プランをスタートしました。

## 著しい成長を見せるEC業界 実店舗との相乗効果が明確に

日本流通産業新聞が2021年12月に集計した「通信販売・通信教育売上高調査(冬季)」によると、上位503社の合計売上高が冬季調査で初めて10兆円を超えるなど、EC業界は絶好調と言える状況です。

前年比ランキングでは、実店舗を展開する小売企業が多く含まれていることがわかりました。[5位/ヨドバシカメラ(60.3%増)14位/ユニクロ(17.9%増)26位/ニトリ(59.2%増)※( )内前年比値]

コロナ禍で実店舗顧客にEC利用を促す施策を強化したことが、高い成長に繋がっているようです。

これらの成功事例は、地方の小売店でも取り入れられます。当社は地域クライアントの商品＝「地域の逸品」を地域の読者に楽しんでもらうため、各戸配布型のフリーマガジン「地域みっちゃく生活情報誌®」事業に力を入れてまいりました。これは、日々の暮らしに必要な不可欠な衣・食・住に関する情報はもちろん、お中元やお歳暮などの場合、その地域で暮らす人たちこそ、地域で営業する店舗のリピーターになる可能性が高いと考えているからです。

2年におよぶコロナ禍で、オンラインによる買い物の便利さは広い世代に認知されました。しかし、慣れ親しんだ店舗に対するマインドは変わりません。地域の店舗は顧客との繋がりを継続するためにオンラインで購入できる手段を設け、その方法を地域の人に伝える必要があります。

ネット販売業界で生き残るには、顧客をオンラインショップへいかに短時間で誘導できるかが勝負です。そこで有効なのが当社の情報誌のようにQRコードを有効活用した広告です。店舗を営業するエリアの何万という世帯に実店舗情報とあわせてPRが可能で、

「フリモール」の告知は、毎月500万部以上発行する情報誌で実施。全国各地から注文が入る高い可能性もっています。

## 歩合制の出品プラン「負け」のない投資を

当社では、コロナの影響で通販事業を開始する事業者を応援するため、2021年10月、地域の逸品を紹介するサイト「フリモール」を立ち上げました。そして2021年12月、「フリモール」に決済機能を追加。これにより、より気軽に通販を始めることが可能となりました。フリモールでは現在、キャンペーンを実施中。掲載のみの「掲載プラン」では約3万円で3カ月の利用ができます。また、決済機能を伴う「出品プラン」の場合は掲載料無料に加え、決済手数料も割引されるキャンペーンを開催中。大変お得に始めていただけます。

決済手数料は販売実績により異なりますが、販売できた場合のみ発生するため赤字にはなりません。決済ページも当社スタッフが作成します。店舗担当者は注文が入った後、当社がご案内するスケジュールに合わせて商品を発送するのみと、簡単な作業で済みます。

手数料は売上があったときだけ！  
掲載無料＋手数料割引あり

### 「出品プラン」のおすすめポイント

- 1 手間知識が必要な出品、注文受付をフリモールが代行します。依頼があったら商品を発送して発送連絡をするだけでOK!
- 2 毎月、約500万部の情報誌で広告します。普段ウェブショピングを利用しない客層にも効果的にPR。
- 3 掲載料は無料。商品を販売したら手数料分を差し引いてお支払いします。

※売上が発生した場合のみ、カード決済手数料など手数料が12%かかります。※上位人気商品には3%の割引があり(12%→9%)。3カ月毎に更新されます。※出品プランの細部の説明については利用規約をご確認ください。

## SNSの活用とあわせて活発化 好調事業の「フリモール」

「フリモール」ではプレゼントキャンペーンを定期開催しています。これまでに3回開催し、累計応募者は5,000人を超えました。PV

も3月に4万件を超え、昨年末より毎月30%ずつUP。コアなファンが定着し始め、上り調子です。

「フリモール」への集客は情報誌告知のほか、「フリモ」アプリのバナー広告を利用して、アプリからは毎月5,500PV程度の流入があります。さまざまな施策により、3月のユニークユーザーは月間約9,500人を突破。毎月増え続けています。

今期からは、情報誌に加えブログやInstagramからの流入も予定しています。自社の商品を販売するチャネルを増やしたいと販路拡大をお考えの方や、自社スタッフだけで通販を始めるには不安がある場合は、ぜひ「フリモール」で新たな一歩をご一緒させていただきます。



今、売れているのはコレ!

### ブログ



### Instagram



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

会社概要	商号	株式会社 中広 (CHUC OC O, LTD.)	東証・名証 証券コード[2139]	
	創業	1978年		
	資本金	4億430万円		
	従業員	454名(2022年4月末現在) グループ全体 474名		
事業内容	フリーマガジン事業	イベント・セミナー事業		
	セールスプロモーション事業	ネット通信販売事業		
	クロスメディア事業	VC事業(ポランタリー・チェーン)		
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」	(地方創生に!)		
社是	人が命・人が宝・人が財産	(社員が輝く組織に!)		
	機会損失の排除	(モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)		
社訓	飲水不忘掘井人	(感謝の心で!)		
グループ会社	株式会社アド通信社西部本社	http://www.adtsu.co.jp		

第45期 基本方針

スローガン 愚直なまでに報恩謝徳の精神で

テーマ DX時代を駆け抜ける!

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●フリモール ●フリモールブログ ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見様サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●Twitter
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告協会



リンク集はこちら



## 営業拠点

<p><b>■ 本社</b> 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p>	<p><b>《福井県》</b> 北北フリモ編集室 福井市大原寺2-9-1 7F TEL.0776-97-9552</p> <p>きらめきくらぶ編集室 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>滋賀/福井広域営業部 粟東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335</p>	<p><b>《愛知県》</b> 名古屋フリモ 各編集室 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区博森町107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>[中央版・西區版・北區版・ 名東版・天白版・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>名古屋フリモ緑区版編集室 名古屋市中村区六田1-150 TEL.052-829-0270</p> <p>名古屋フリモ守山版・ アサヒセット・ひまわりくらぶ編集室 尾張旭市東本郷4-1-10 TEL.0561-42-5799</p> <p>[ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971</p>	<p>Belle club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p> <p>よっかいちai編集室 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つづーず編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リーガクラブ編集室 名古屋市中区3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふぁみんぐくらぶ編集室 松本市光町1056-4 TEL.0598-25-3788</p> <p>イセクラブ編集室 伊勢市岩淵3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からっと倶楽部編集室 尾張市坂崎西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p> <p>さみっとくらぶ編集室 志摩市阿原町鎌方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p>	<p><b>《和歌山県》</b> まいなむ編集室 岩出市高瀬8-4 2F TEL.0736-67-7630</p> <p><b>《鳥取県》</b> つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集室 倉吉市山越5-40-1 4F TEL.0858-27-0510</p> <p>こはくらぶ編集室 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p> <p><b>《福岡県》</b> マイタウン西新・経浜編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p> <p>マイタウン伊都編集室 糸島市前原中央2-3-60 1F TEL.092-332-8223</p> <p><b>VC営業部</b> 岐阜市東興町27 4F TEL.058-214-3325</p> <p><b>《滋賀県》</b> ぼてじゃこ倶楽部編集室 長浜市宮司町11617 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>こんきくらぶ編集室 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p> <p>オウテッククラブ編集室 近江八幡市桜宮町289 3F TEL.0748-36-1148</p> <p>湖南フリモ・甲賀フリモ編集室 栗東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335</p> <p>びわこ編集室 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p><b>《奈良県》</b> かしらくらぶ編集室 橿原市葛木町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p>	<p><b>官公庁事業部</b> イベントセミナー部 岐阜市東興町27 TEL.058-248-5611</p> <p><b>DX開発事業部</b> EC部 大田市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p> <p>デジタルマーケティング部 岐阜市東興町27 TEL.058-214-3325</p> <p>DX部 岐阜市東興町27 TEL.058-201-0245</p> <p><b>業務執行戦略室</b> 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p> <p><b>■ 管理本部</b> 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 TEL.058-240-4005 [購買派遣課] TEL.058-246-0285</p> <p><b>システム部</b> 東京都港区新橋6-14-5 6F TEL.03-3434-8448</p> <p><b>■ グループ会社</b> 株式会社アド通信社西部本社 本社[北九州営業部・業務管理部] 北九州市小倉北区堺町1-3-15 4F TEL.093-551-4581</p> <p>福岡支社 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-2230</p> <p>むなふ・おるね編集室 奈良市土伏1-3-34 1F [むなふ]TEL.0940-39-3672 [おるね]TEL.0940-39-3404</p> <p>月刊TOSS編集室 梶橋市藤木町2456 1F TEL.0942-50-9619</p>
---	---	---	--	--	--